



福島県

生活環境部県民環境室 人権・男女共同参画グループ ☎ 024-521-7188 ホームページアドレス http://www.pref.fukushima.jp/kenmin/u_d



「ユニバーサルデザイン」は、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず、はじめから、すべての人にとって利用しやすいように、まちづくり、ものづくりなどを行う考え方です。

これまで、効率性を追求するあまり、健康な成人男性を「平均的な人間」と考え、その利用を念頭に置いた画一的なまちづくり、ものづくりが行われてきたため、高齢者や障害者、子どもなどが生活する上の障壁(バリア)がたくさんできてしまいました。

また、だれでもケガや病気をしますから、現在健康な人にとっても安全・安心・快適な社会とは言えません。

このため、だれもが暮らしやすい社会づくりを目指すユニバーサルデザインの考え方が近年注目を集めています。



●レバー式水栓
少ない力で、だれでも楽に水を出せる



●シャンプー側面にギザギザがついていて、さわっただけでリンスとの区別ができる

12月4日～10日は人権週間です



第二話 “まち”や“もの”的 ユニバーサルデザイン



ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、
<公平性・自由性・わかりやすさ・安全性・つかいやすさ>
の要素を満たす製品は、すでに私たちの身のまわりのあちらこちらで見ることができます。

みんなが暮らしやすい社会は、みんなでつくるもの。
ユニバーサルデザインの視点で、身のまわりのものを見つめ直してみましょう。



うつくしま、ふくしま。

福島県

生活環境部県民環境室 人権・男女共同参画グループ

☎ 024-521-7188

ホームページアドレス http://www.pref.fukushima.jp/kenmin/u_d

12月4日～10日は人権週間です



施設を整備しても、目の不自由な人のためにつけた点字ブロックの上に自転車をとめたり、障害者専用の駐車スペースに他の人が車をとめています何にもなりません。

だれもが暮らしやすい社会をつくるためには、施設の整備だけではなく、一人ひとりがお互いの個性や違いを認め、尊重し、思いやる気持ちを持つこと（ここでのユニバーサルデザイン）が重要です。

"快適なふくしま" の実現に向けて

人は、だれでもケガや病気をしますし、年もとります。だれもが暮らしやすい社会づくりを目指すユニバーサルデザインは、私たち一人ひとりの問題です。

まずは、「できるところ」「身近なところ」から始め、みんなで "快適なふくしま" をつくっていきましょう。

うつくしま、ふくしま。



福島県 生活環境部県民環境室 人権・男女共同参画グループ ☎ 024-521-7188 ホームページアドレス http://www.pref.fukushima.jp/kenmin/u_d

12月4日～10日は人権週間です